

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第517号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者・はら つとむ / 編集責任者・としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

コロナの収束に向けた取り組みを進め 「第6波」への万全な備えを 憲法9条守り、区民の暮らしや営業を守る対策を

日本共産党 としま剛区議が代表質問



代表質問を行う、としま剛区議
(11月29日、区議会本会議場)

墨田区議会定例会11月議会は、11月29日から12月13日までの日程で開かれました。29日には、としま剛区議が代表質問に立ち「新型コロナウイルス感染症対策」「コロナ危機から区民の暮らし、営業を守る対策」「岸田内閣の改憲問題」などについて提案し、山本区長の見解を質しました。

区民生活の実態を直視して、暮らしや営業を守る対策を

としま 感染者が減少し 受けられるようにすべき。ているときにこそ、大規模 ワクチン接種は、2回接種から半年以上経過した人に3回目の接種を確実に受けていただくこと、未接種の方に接種していただく努力を強めること

が求められる。区長は、収束に向けた戦略をどう描き、どう対策を進めるのか、見解を問う。
区長 新新規陽性者を少なく抑え、早期に適切な医療が受けられる、感染症に強い体制を構築していく。そのためには、3回目接種を着実に進め、区内医療提供体制を充実し、保健所の体制を整えることが重要であると考えている。
としま 「第6波」への万全な備えも不可欠。保健所の体制、検査や診療体制の強化、十分な病床と、診療や生活支援が受けられる宿泊施設の確保、自宅療養者が出た場合の支援、年末年始の対策など、万全な備えが必要と考えるが、区はどのように取り組むのか。
区長 区では、第6波が起きた場合に備え、検査体制の整備、入院病床や在宅治療の体制を整えるなど、医療のひっ迫を防ぐ対策を迅速に講じる。

2030年までのCO2削減目標を50%以上引き上げよ

としま 板橋区では30%以下の売り上げの減少であったとしても、独自の月次支援金を支給することを決めた。区民から歓迎されている。このような区民生活の実態を直視して、暮らしや営業を守る対策が強く求められるが、区長の見解を問う。
区長 生活困窮者自立支援金の支給など、国や都の制度の活用を丁寧につなげるように支援する。区独自の事業者向けの対策として、新型コロナウイルスという世界平均より低い。

としま 政府の温室効果ガス削減目標は、国連が示した「2030年までに2010年比45%」と2030年までの削減目標を50%まで引き上げ、実効性のある対策を進めるべき。
区長 「第二次すみだ環境の共創プラン」中間改定の中で、2000年度比で50%削減の目標を掲げ、区民自らが取り組みやすい事例を情報発信するなど、実効性のある対策を講じていく。



区長に予算要望書を提出する日本共産党墨田区議団

予算 要望

日本共産党墨田区議団は11月22日、「2022年度墨田区予算編成に関する要望書」を山本亨区長に提出しました。「新型コロナウイルス感染症対策」26項目、「区民の暮らしをまもり、負担軽減を図る重点要望」32項目など、全部で234項目の要望となっています。

区は行財政改革にきました。このよう「現金給付型施策の見直し」を掲げ、原則として現金給付型施策は実施しないとして、コロナ危機のもとでも、区民や区内事業者を支援する現金給付型施策をかくたく拒否して

第3回目のワクチンの予約について

墨田区では、1月31日より65歳以上の高齢者の接種が始まります。接種券は、2回目の接種から7か月経過したあたりから郵送されます。(現在は8か月後に接種となっていますが、早めるように論戦しています。)

◎お問い合わせ／墨田区コロナワクチン接種
 お問い合わせ電話 0120-714-587
 受付時間 午前8時半から午後5時15分
 (土・日・祝日含む)

視察

▼コロナ禍2度目の忘年会シーズンをむかえています。民間調査機関Job総研が行なった調査によると、87%が勤務先での忘年会は「実施なし」と回答。その理由として「忘年会で社内からコロナ感染者が出ることへの懸念」「従業員の長期休養で、取引先に迷惑をかける」など、昨年からの忘年会を敬遠する傾向が続いています。▼一方、飲食店の客足はまだまだ厳しい状況です。▼地域の飲食店の方からは、「緊急事態宣言が終わっても、お客さんの戻りは3割程度」「オミクロン株の影響で、少人数の予約でもキャンセルが出始めている」などの声も寄せられています。▼求められているのは、家賃助成や光熱費の補助など、事業者を支える直接的な支援です。また、オミクロン株の市中感染を防ぎ、大規模な検査を行うなど、事業者の皆さんが安心・安全で営業できる環境を作ることが政治の責任ではないでしょうか。

性と生殖に関する健康と権利の視点に たった施策の推進を

あさの清美区議が一般質問

12月1日の本会議であさの清美区議が一般質問に立ち、ジェンダー平等の推進について提言を行いました。



一般質問を行う、あさの清美区議 (12月1日・区議会本会議場)

区立・児童相談所の設置は棚上げ



委員会で発言する、はらつとむ区議

12月3日子ども文教委員会が開かれ、「本区における児童相談体制の在り方について」の報告がありました。

報告では、3年後に横川に建設予定の新保健センターへ何設置を予定して

いた区立児童相談所は設置せず、江東児相のサテライトオフィスを設置するとしています。サテライトオフィスとは、江東児相の職員数人に、週に数日、区の子ども家庭支援センターに来てもらう仕組みです。

区は「墨田の子どもは墨田で守る」として、新保健センターの建設とともに児童相談所の設置を進めてきましたが、今回の棚上げは区の姿勢が厳しく問われます。

長は「女性がライフステージに合わせて、性と生殖に関する健康管理や自己決定ができるよう、普及啓発を図っていく」と答弁しました。

また、あさの区議は、「日本のジェンダー平等の遅れの多くには二つの問題がある」として、①明治時代に強化されたジェンダー差別の構造を、今日まで引き継いでいる。『男性がある性、女性はある性』という性差を「男女」として区別し、明治憲法下の家父長制の日本を『美しい国』だったと考える人たちが、政治の中枢にすわっているために、選択的夫婦別姓も、同性婚・LGBT平等法も実現をばばまれている。②女性を安上がりの労働力として

あさの区議は、「リップ&ライツ性」と生殖に関する健康と権利の視点と、子どもを産む・産まない、いつ何人産むかを、女性が自分で決める基本的な権利。性と生殖に関する健康や、それについて

あさの区議は、「リップ&ライツ性」と生殖に関する健康と権利の視点と、子どもを産む・産まない、いつ何人産むかを、女性が自分で決める基本的な権利。性と生殖に関する健康や、それについて

「コロナ危機を教訓に福祉施設は、 区直営で」山下ひろみ区議が討論

12月13日の本会議で11月議会に提案された議案のうち、反対する条例案や補正予算について討論を行いました。



反対討論を行う、山下ひろみ区議

山下区議は「コロナ危機のもとで、医療、介護、保育など命を守るケア労働の重要性が再認識されている中、区立保育園の民営化を進めてきたがコロナ危機の教訓も生かして、公的保育の充実を図るべき。ひきふね保育園については現在、公設民営となつていて、公的責任を完全に放棄して民間に移譲するようなことはやめるべき、ました。

「八広児童館の指定管理の指定について、株式会社は社会福祉法人とは性格が違い、利益の追求が第一となる。福祉施設の指定管理は見直すべき」と主張。さらに、「墨田区立緑図書館、立花図書館、八広図書館の指定管理者の指定について、直営に戻した自治体も出ています。図書館法の国民の教育と文化の発展に寄与するという目的を誠実に履行するためにも区が直接運営し、地域に根差した図書館にしていくべき」と指摘し

災害時の避難所＝段ボールベッドや 間仕切りなどの整備を早急に



委員会で発言する、高柳東彦区議

11月21日の墨田区総合防災訓練で「避難所の開設訓練」が行われましたが、毛布1枚だけ渡されて体育館の床に雑魚寝をするというもので、参加した区民からも「これではとても寝られない」との声が寄せられました。

12月6日の地域産業都市委員会が高柳東彦区議は、強く求めました。

「避難所の改善については、コロナ対策を含めて、段ボールベッドや間仕切りの整備など、各会派からも様々な意見が出されて、区は改善を図っていくと答弁してきた。何も変わっていないではないか」ときびしく追及しました。

さらに、「必要なら備蓄倉庫の整備も行い、段ボールベッドなどを配備すべきと議論して、改善を図ると答弁してきたはず。区の姿勢は重大だ」とただちに改善するよう強く求めました。

墨田区議会11月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲墨	墨立憲	オン	新す	絆	無	結果
令和3年度墨田区一般会計補正予算(第9号)	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
令和3年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
令和3年度墨田区介護保険特別会計補正予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度墨田区一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区道における移動等円滑化の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区保育所条例の一部を改正する条例	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
墨田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
墨田区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
土地等の売払いについて(シティハイム立花の土地等の売払い)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(仮称)新保健施設等複合施設新築工事請負契約	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
旧たちばな高齢者在宅サービスセンター全階内装改修その他工事請負契約	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
曳舟小学校プール棟改築工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みどりコミュニティセンターの指定管理者の指定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
八広児童館の指定管理者の指定について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
江東橋児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
墨田区立緑図書館、墨田区立立花図書館及び墨田区立八広図書館の指定管理者の指定について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
特別区人事及び厚生事務組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償額の決定について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出に関する請願	○	×	×	○	×	○	×	○	×	不採択

※「立憲墨」は「立憲民主党墨田区議団」、「墨立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は「地域連合「すみだの絆」」、「無」は「無所属」の略。



インフルエンザはまだ流行していません。普通流行が無く、100年ぶりの事。コロナはこれからまた流行するだろう。オミクロン株は今のところ実態が分かっている。でもコロナのおおよその事はわかっていない。普通のかぜよりは長く続き、8割は自然に治る。肺炎は一週間かかたら二週間は自宅待機で、急変が無ければそのまま自然治癒となる。20%くらいの方が肺炎などになって入院すると思っ

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく

新型コロナで、インフルエンザの様に薬を使えば安全だとはなっていない。一応、かかったら二週間は自宅待機で、急変が無ければそのまま自然治癒となる。20%くらいの方が肺炎などになって入院すると思っ

が、700人以上が感染し、60%は無症状だった。致命率は日本で1%、世界で2%であった。感染者が増え、重症者が入院できなくなる。今年の夏は多くの人が家で2回接種の効果で半減している。3回目のワクチン接種は、モデルナのどちらでもよいから打ちましょう。製品はほぼ同じものだ。モデルナは若い女性に心筋炎などに副作用がでると言われている。外国から輸入しかないので問題。第6波は、デルタ株が先行し、その後オミクロンが拡大するらしい。コロナとの共存が必要になった。早く薬の開発と使用が世界中で実現することを願う。

て利用したいという財界の意向のままに、女性差別の構造をいくえにも積み重ねてきたこと」を指摘し、区長の認識をただしました。

区長は「家父長制や企業等の労働環境への取組に関する男女平等の観点からの歴史認識と社会構造の変遷については、様々な価値観に基づく見解がある中で、区長としての意見を述べることは差し控える」と答弁しました。